

令和4年度 学校評価に関するアンケート集計結果(全学年)

アンケート回収率	
生徒	79.9%
保護者	44.9%
教員	100.0%

表中数値	
上段:生徒	
中段:保護者	
下段:教員	

大変そう思う ← ① ② ③ ④ → 全くそう思わない

No.	項目	アンケート内容	①	②	③	④	無回答
14	各種交流事業および発表会等について	学校は、各種事業(「大学進学のための学力向上推進事業」等)や発表会(「課題研究発表会」等)の中で、生徒に「課題発見能力」と「問題解決能力」、さらに「豊かな発想力や発表する力」が身につくよう取り組んでいる。	23.5%	62.3%	12.2%	1.4%	0.6%
		学校は、各種事業(「大学進学のための学力向上推進事業」等)や発表会(「課題研究発表会」等)の中で、生徒に「課題発見能力」と「問題解決能力」、さらに「豊かな発想力や発表する力」が身につくよう取り組んでいる。	13.3%	63.1%	20.2%	1.5%	1.9%
		学校は、各種事業(「大学進学のための学力向上推進事業」等)や発表会(「課題研究発表会」等)の中で、生徒に「課題発見能力」と「問題解決能力」、さらに「豊かな発想力や発表する力」を育成する教育を行っている。	21.1%	71.1%	7.9%	0.0%	0.0%
15		学校は、「グローバル人材」や「福島復興人材」を育成するため、各種事業(「福島イノベーション・コースト構想人材育成事業」等)をとおして教育機関と連携し、生徒に「広い視野」を獲得させる機会を設けている。	13.9%	56.5%	26.6%	2.8%	0.2%
		学校は、子どもが視野を広げ、考える力や発表力を深めるとともに、「論理的思考力」が身につくよう、各種事業(「福島イノベーション・コースト構想人材育成事業」等)をとおして教育機関と連携し「グローバル人材」と「福島復興人材」の育成に努めている。	8.9%	60.1%	29.1%	1.5%	0.4%
		学校は、生徒に「広い視野」を獲得させるため、各種事業(イノベーションコースト構想事業等)をとおして教育機関やSSH実施校と連携して「グローバル人材」と「福島復興人材」の育成に努めている。	7.9%	73.7%	18.4%	0.0%	0.0%
16	保護者・同窓会との連携協力等について	学校は、家庭への連絡や情報提供を積極的に行っている。	23.5%	60.9%	13.0%	1.4%	1.2%
			18.2%	63.5%	16.7%	1.0%	0.6%
17		私は、学校からの連絡や配付物をきちんと家庭に伝え・届けている。	18.4%	68.4%	10.5%	0.0%	2.6%
		保護者と学校は、学校行事・PTA活動等に協力しながら取り組んでいる。	33.8%	49.0%	14.4%	1.9%	0.9%
		学校は、学校行事・PTA活動等において、保護者と連携・協力して行っている。	9.4%	62.1%	27.1%	1.0%	0.4%
		学校は、学校行事・PTA活動等において、保護者と連携・協力して行っている。	18.4%	63.2%	18.4%	0.0%	0.0%

